

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

HPサイト http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【比例定数削減反対情報】

2012年2月2日

第322号 Tel 03-3261-9007
本号2号 Fax 03-3261-5453

2・2院内集会に220人 衆議院全議員に要請

衆院選挙制度に関する各党協議会がひらかれる（2月1日）など、緊迫した情勢のもと、2日午後国会内で、『身を切る』を斬る！小選挙区制はもういらぬ！比例定数削減反対・民意が届く選挙制度で国民の声を国会へ！「2・2院内集会&議員要請」が開かれました。呼びかけは11団体。

集会には全国から参加した自由法曹団の弁護士ら約80人を含む220人が、会場の衆議院第1議員会館大会議室を埋め、熱気に包まれました。

集会では、大黒作治全労連議長が主催者あいさつ、穀田恵二日本共産党国会対策委員長・衆議院議員が国会報告、小部正治自由法曹団幹事長が行動提起を含めた基調報告をおこないました。

また、急浮上した「小選挙区比例代表連用制」について、自由法曹団の「意見書」にもとづき、田中隆弁護士が報告。「民意の歪曲を本質とする小選挙区制の維持では民意の反映はできない」などとこの制度を強く批判しました。

新婦人の会、農民連、全商連、東京地評、民青同盟、自由法曹団、憲法会議のメンバーが報告と決意表明をおこないました。また福島から菅野偉男福島憲法会議事務局次長が、福島の現状と比例定数削減に反対する運動について発言しました。

（大黒議長あいさつ、穀田議員の国会報告、各団体代表、福島県からの発言などは続報します。）

新リーフレット・署名用紙お披露目

小部幹事長は基調報告の中で、新しいリーフレットと署名用紙を紹介、大胆に活用しようと呼びかけました。（リーフレット、署名用紙の見本は続報します。）

議員要請行動で全議員に働きかけ

集会後、参加者は30組以上の陳情団をつくり、衆議院の全議員室を訪問、働きかけを行いました。

【2ページに行動提起全文を掲載】

行 動 提 起

〔前提〕

- ①「税・社会保障一体改悪」という大がかりな攻撃のもとで進められようとしている課題の重大性と情勢の急展開の実情をふまえ、「身を切るというが切られるのは民意」「国民目線の政治は比例代表でこそ」など主権者国民の要求を結集し、やるべきこと、これまでの運動で経験してきたことを、さまざまな段階や分野、階層などですべてやる意気込みとその具体化をはかり、やれることから足を踏み出しましょう。
- ②当面の課題と運動を展開しつつ、運動の構えと体制を一気に拡大し、共同を追求するとともに、要求と結合した運動の画期的な拡大をはかることなどの検討を急ぎましょう。

〔当面の行動提起〕

- ①一目見れば必ず話題になるリーフレットを大胆に、新しい署名用紙をいっしょに、一気に広げ、活用しましょう。
- ②すべての構成員に問題の重大性を徹底するために、また広く世論に訴えるために、集会・学習会など多様な規模と形態で開催しましょう（講師の相談にのります）。
 - ③「9の日宣伝」だけでなく、あらゆる要求宣伝行動にもリーフレット・署名用紙を持ち込み、どこでもいつでも打って出、世論に訴えましょう。対話をひろげ、宣伝と署名の活動を急速に強め、野田内閣を追い詰めましょう。

署名は、団体などで目標をもって、国会行動には大きく結集しましょう。
- ④職場、地域、分野などさまざまな形・内容のアピール運動などを展開しましょう。
- ⑤議員・政党への働きかけを強めましょう。全国各地・地元でも、また地元から国会にでかけ働きかけましょう。
- ⑥地方議会に請願し、地方議員への働きかけもおこない、「小選挙区制の弊害は明らか、民意を切り捨てる比例定数削減に反対し、比例代表など国民の声が届く選挙制度への抜本的改革を」などを内容とする意見書、決議の採択を追求しましょう。
- ⑦3月7日（水）に国会行動（詳細は追伸）をおこないます。署名や運動を持ち寄り、議員にも働きかけましょう。国会行動を緊急に提起する場合があります。

全国各地、団体による独自の国会行動も強めましょう。
- ⑧マスコミにも働きかけ、民意反映の抜本的な改革を進める立場から、取り組みなどを報道するように要請しましょう。
- ⑨各地・各団体の運動と情勢などの情報を集め、「比例定数削減反対・民意反映選挙制度実現速報」（仮称）を発信します。経験などを集中しましょう（憲法会議のメールアドレス：mail@kenpoukaigi.jp）。